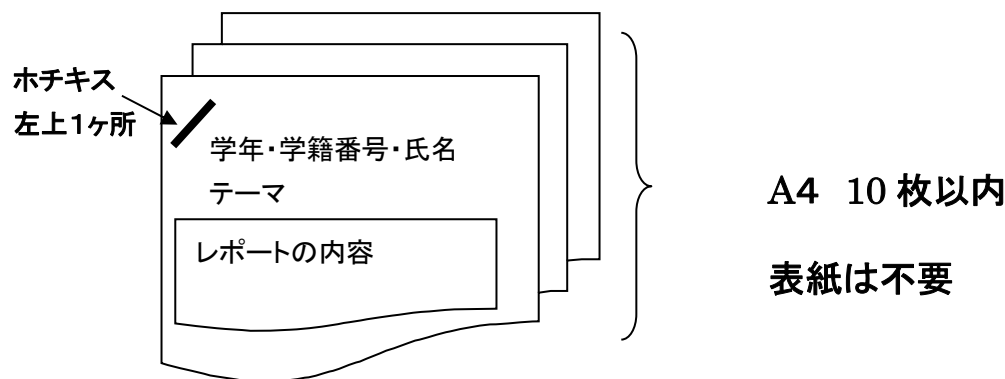


レポートの書き方

- ◆勉強とは、自分(あるいは他人)が理解しやすいように**工夫すること**
- ◆大学では、勉強(工夫)の仕方＝モノの見方・考え方、論理の組立て方、層別・パターン化、仕組み・法則・メカニズムなどの見方・組立て方、....等を身につけること
- ◆分からないことは直ぐに調べる(知らない知識、異なる視点を探す)習慣を身につける
- ◆分からない時は、他人と意見交換(異なる視点を加える)し、視点を広げて発展させる
自分で調べたこと、考えたことを述べた上で、相手に意見を求める **丸投げにしない**

1. 全体の構成



2. 項目立て

(1) テーマ および テーマの選定理由

① テーマ選定理由 キッカケとなった**自分の問題意識**「何故だろう？」

何故そのテーマを選んだのか、問題意識が具体的であるほど、やるべきことも明確になる

★ 問題意識が曖昧なうちは、何をやればよいか分からない

問題意識がなく、ただ「知りたい」「調べやすい」「データがとりやすい」では展開できない

② テーマの設定 : 大きすぎる(抽象的)テーマ・週刊誌のタイトルのようなテーマは避ける

<悪い例> **問題意識** : **何となく、興味があった、知りたかった**

ゲーム業界の将来、ゲーム業界は成長するか、iPhone について、...etc.

本・雑誌・Web などの要約・写しでは、展開しきれない、検討・考察が曖昧、結論が出ない

やりやすいと安易に取り組むと失敗する

<良い例> **問題意識** : **どんな RPG がヒットするのか知りたい、自分でも作りたい**

ヒットした RPG、ヒットしなかった RPG に共通する要因を調べ、法則性を見出す

(2) レポートを組立てる上での仮説とシナリオ

◆ 仮説 - 実験・観察・調査 - 検証

「仮説とは、自然科学、その他で、一定の現象を統一的に説明しうるように設けた仮定」であり、「ここから理論的に導き出した結果が観察や実験で検証されると、仮説の域を脱して一定の限界内で妥当とする真理となる」(広辞苑)

◆ **仮説を立てて検証する目的** 仕組み・法則・メカニズムを見出し、応用する・コントロールする結果に対し、どのような**要素**が、どのように働き(**仕組み・法則・メカニズム**)、どのように**影響**するのか、既知の事実、原理、法則などに基づいて仮説を立て、実験・観察・調査などによって検証する。必要に応じて、さらに具体的、かつ詳細な実験・観察・調査を行い、精度を高める。

① 問題意識のレベルですべてが変わる

悪い例 ビールは夏暑くなるとよく売れるだろう **目的** → **調べること**
ビールの出荷量と気温の関係を調べれば終わる

良い例 どんな RPG がヒットするのか **目的** → **ヒットの法則を見出すこと**
→ ヒットする RPG は、どのような要素の組合せによって出来上がっているのか
過去のゲームを要素に分けて比較した上でヒットの法則を見出す

② シナリオ レポートを組み立てる(テーマについて検証する)手順

問題意識を解決するために、どのような手順を踏むのか

何が分かれば、何が言えるか

→ **そのためにはどんな資料・データが必要で、それをどのように用いればよいか**
レポート全体の展開、仮説の立て方=用いる資料、データの種類・採り方・検討方法など

例 ビール

例 RPG

◆ ケーキの事例 **たくさん売れるようにしたい・廃棄(売れ残り)も減らしたい**

① **たくさん売るために知っておく必要があること**

② **廃棄(売れ残り)を減らすために知っておく必要があること**

(3) 資料（データを加工したもの）基本は自分で収集

① 最悪、マス媒体からの引用はかまわないが、必ず出典、引用を明らかにすること

② 見やすく工夫＝ビジュアル化すること(何を、どう見るかによってグラフの種類を変える)

③ データが目的ではない データにばかり時間をかけ過ぎない、紙面を割かない
資料ばかりたくさんあっても、レポートとして認められない

④ データの取り方・検討方法

何を、どのように知りたいのか(目的)によって、データの種類、検討方法が変わる

データ＝項目/単位/期間

(4) 資料・データについての検討と考察 特に資料・データの使い方

- ◆ 何のために(目的)資料・データをつけているのか 説明する必要がないデータは不要
事実データに基づいて論理的に展開する 勝手に自分の考えだけで独善的に展開しない
資料・データの引用はよいが、考察、結論まで引用しない

(5) 全体としてのまとめ・結論・課題

- ◆ インターネットや雑誌記事の要約はしない・考察、結論まで引用しない
(結論がない 見ればすぐ分かる)

自分の問題意識・仮説・考察・結論・課題がないものはレポートしての要件を満たさない

4. その他 書き方、まとめ方 **だらだら書かない**

とにかく**表**(マトリックス)にする **表**にまとめることで同一項目内や項目間の比較がしやすくなる

考察も解説も**箇条書き**にして**だらだら書かない** 論理的になるよう書く順序を決める

できるものは、**総て表にする＝何でもマトリックス**

レポートでは、問題意識、テーマ選定、仮説設定、検証という一連のプロセスを
どのように組立てているかを評価する。

自分で考え、自分の言葉でまとめること！